**【参考資料】教育的ニーズを整理するための調査事項の例（視覚障がい）**Word版

　以下の資料は、視覚障がいのある子どもの教育的ニーズを整理するための三つの観点を踏まえて調査票の参考例として調査事項等を示したものである。

|  |
| --- |
| **１　視覚障がいのある子どもの教育的ニーズについて～教育的ニーズを整理するための観点～****①　視覚障がいの状態等の把握** |
| 視　点 | 事　　項 | 記　　録 |
| 医学的側面 | 障がいに関する基礎的な情報の把握 |  |
| 既往・生育歴 |  |
| 視覚障がいの状態 |  |
| 現在使用中の補装具等 |  |
| 心理学的教育的側面 | 発達の状態等に関すること |  |
| 身体の健康と安全 |  |
| 保有する視覚の活用状況 |  |
| 基本的な生活習慣の形成 |  |
| 運動・動作 |  |
| 感覚機能の発達 |  |
| 知能の発達 |  |
| 意思の相互伝達の能力 |  |
| 情緒の安定 |  |
| 社会性の発達 |  |
| 本人の障がいの状態等に関すること |  |
| 障がいの理解 |  |
| 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善するために、工夫し、自分の可能性を生かす能力 |  |
| 自立への意欲 |  |
| 対人関係 |  |
| 学習意欲や学習に対する取組の姿勢 |  |
| 諸検査等の実施 |  |
| 個別検査の種類 |  |
| 検査実施上の工夫等 |  |
| 検査結果の評価 |  |
| 発達検査 |  |
| 行動観察 |  |
| 認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援施設等からの情報の把握 |  |
| **②　視覚障がいのある子どもに対する特別な指導内容** |
| 視機能の発達を促す |  |
| 的確な概念形成と言葉の活用 |  |
| 状況の理解と変化への対応や他者の意図や感情の理解 |  |
| 保有する視機能の活用と向上を図ること |  |
| 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること |  |
| 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること |  |
| 状況に応じたコミュニケーションに関すること |  |
| 身体の移動能力に関すること |  |
| **③　視覚障がいのある子どもの教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容** |
| ア　教育内容・方法 | （ア）教育内容 |  |
| 　ａ　学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 |  |
| 　ｂ　学習内容の変更・調整 |  |
| （イ）教育方法 |  |
| 　ａ　情報・コミュニケーション及び教材の配慮 |  |
| 　ｂ　学習機会や体験の確保 |  |
| 　ｃ　心理面・健康面の配慮 |  |
| イ　支援体制 | (ア)専門性のある指導体制の整備 |  |
| (イ)子ども、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮 |  |
| (ウ)災害等の支援体制の整備 |  |
| ウ　施設・設備 | (ア)校内環境のバリアフリー化 |  |
| (イ)発達、障がいの状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮 |  |
| (ウ)災害等への対応に必要な施設・設備の配慮 |  |

|  |
| --- |
| **２　学校や学びの場について** |
| 設置者の受け入れ体制 | 小・中学校の状況 |  |
| 本人・保護者の希望 | 希望する学校、教育の場 |  |
| 希望する通学方法 |  |

|  |
| --- |
| **３　その他** |
| 併せ有する他の障がいの有無と障がい種 |  |
|  |  |

参考・引用：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「障害のある子供のための教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（令和3年6月）